



自学・敬愛・誠実

三原の嶺より

◆学校教育目標◆

- ・自ら進んで学び
- ・自然や人を愛し
- ・たくましく生きる生徒

令和6年2月26日（令和5年度 第10号）

発行責任者 大島町立第一中学校長

生徒の道徳性が伸び、登校するのが楽しく、安全な学校
確かな力のつく学校、地域に学び、地域とともに歩む学校

家庭教育と学校教育

副校長

東京都は、顧客が企業の従業員に理不尽な要求や悪質なクレームを突きつける「カスタマーハラスメント（カスハラ）」の防止条例を制定する方針を固め、年内の提出を目指しているそうです。カスハラは、従業員に土下座して謝罪するよう強要したり、暴言を吐いて過度な要求を繰り返したりするなどの迷惑行為で、近年、カスハラ被害を受けた従業員が心身の不調で離職や自殺に追い込まれるなど、小売・サービス業界を中心に問題化していました。「サービスをする側が『我慢して当たり前』という雰囲気が変わるきっかけになれば」と歓迎する声が多く聞かれているそうです。

【カスタマーハラスメントの主な事例】

- ・大声での暴言・罵声
- ・長時間にわたるクレーム
- ・要求を繰り返して揚げ足を取る
- ・言いがかりをつけて返金や値下げを要求
- ・SNSへの投稿をほのめかした脅し
- ・従業員へのつきまとい

左にカスタマーハラスメントの主な事例を載せてありますが、似たような事例は学校でも見られます。また、こうした事例は年々増加傾向にあり、本校も例外ではありません。家庭の考えを一方的に学校に押し付け、学校の要望や意見は一切聞かないという保護者が増えているように感じます。多くの生徒や保護者に慕われ、信頼されている教員が一人の保護者によって休職・退職に追い込まれるケースも過去に何度か見てきました。条例の制定がこうしたケースの減少につながるよう個人的にも期待しています。

こども基本法（令和4年6月成立：こども家庭庁）で「こどもの養育は家庭を基本として行われ、父母その他の保護者が第一義的責任を有する」と定められているように家庭の教育方針は十分に尊重されなければなりません。しかし、家庭教育は家庭ごとにやり方や考え方が異なります。なかには、極端に偏った考え方や子供の教育に関心が薄い家庭も見られます。それに対し学校教育は基本的に国や自治体の教育目標に沿って教育活動を行うため、（私立学校を除き）学校ごとのやり方や考え方が大きく異なるということはありません。子供一人一人の個性は異なりますが、バランスのよい教育を行うには家庭教育と学校教育をうまく組み合わせることが最も効果的であるというのは衆目の一致するところではないでしょうか。

学校教育が家庭教育と大きく異なる点は主に三つあると個人的に考えています。

一つ目は組織的指導です。学校は生徒指導やいじめ等の重大案件の対応については複数指導を原則としています。教員一人一人の考え方、指導力は異なりますが、複数の教員による意見形成に基づいた組織的な指導を行うことによって一定の教育水準を保つことができます。

二つ目は経験的指導です。教員一人一人の経験値は異なりますが、学校職員全体では何百何千という実践経験を積んでいます。多くの成功事例・失敗事例を踏まえた指導が行える点は学校教育の大きな強みだと思います。

三つめは集団教育です。現在は多様性が認められ、一人一人個に応じた指導が求められる時代ですが、やはり集団の中でしか学べない、経験できないことも数多くあります。特に非認知能力（コミュニケーション力や意欲、忍耐力など、数値での測定が難しい能力）を伸ばすには学校教育の場が最も効果的であると言われています。

家庭教育と学校教育は義務教育期の子供の成長における両輪です。それぞれに長所と短所があり、多少の差異はあっても「子供のよりよい成長」という目標は同じだと思います。家庭と学校がお互いに違いを認め合い、尊重し合い、協力し合うことが社会のため、そして何より子供たちのために必要なのではないのでしょうか。

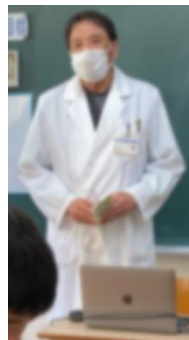
PTA 文化部講演会 2月8日(木)

一中祭の午後の部で実施予定だった PTA 文化部主催の大島高校郷土芸能部や吹奏楽部の発表がインフルエンザ蔓延により中止となってしまいました。その代替として2月8日(木)、波浮港で Hav Café を営む寺田直子さんを講師に招き、講演会を行いました。寺田さんはカフェの経営だけでなく、“トラベルジャーナリスト”として世界中を旅し、執筆活動も行っています。寺田さんは東京都調布市出身ですが、以前から大島を気に入り、何度も大島に来島されていたそうです。そして、ご縁があつて波浮港の古民家を買取り、リノベーションし、カフェをオープンされたそうです。Hav Café には年間約 3000 人ものお客さんが訪れることや大島で採れる食材を使って、大島ならではのメニューを考え提供していること。そして、寺田さんがトラベルジャーナリストになった経緯や 100 か国以上を訪れて感じたこと、大島の魅力等について幅広くお話をいただきました。



がん教育 2月9日(金)

大島医療センターの清水先生をお招きして2年生を対象にがん教育を実施していただきました。がんは今や日本人の2人に1人はなるとされています。保健の学習で身に付けた知識を活用しながら、清水先生から出題される問題に、一生懸命答えていました。講話の後はグループで質問を考え、積極的に質問する姿が見られました。清水先生、お忙しい中ご講話いただき、ありがとうございました。



伝統文化体験授業：茶道体験（1学年）

2月13日(火)に伝統文化体験事業として、茶道体験を行いました。講師に大日本茶道学会の村田先生をお招きし、2時間かけて『茶道』に触れました。茶道体験の目的は2つあります。1つ目は日本の伝統文化や歴史に関心をもたせ、理解しようとする心を育てること。2つ目は茶道の歴史について、茶道の成り立ちや茶室の中での作法について学ぶことです。

今回の体験学習の前に、道徳において和菓子を作る職人、菓子司（かしし）の生き方から日本の伝統文化について考えるという授業を行いました。授業の中でのキーワードは『一期一会』でした。『一期一会』とは『茶会の出会いは、一生に一度きりのものと心得、二度と巡ってこない一度きりの出会いのために誠意をつくせ』という教えです。茶道体験でも講師の村田先生が『茶道では一期一会という言葉大切にしている』という話がありました。実際に茶をふるまう場面では慣れない手つきで茶をたてる姿や作法を気にしながら和菓子を食べる姿が印象的でした。教室で学んだことを、身をもって体験することができました。相手のために誠意を尽くす気持ち、この大切な精神の一端を学ぶことができました。



魚のふれあい体験（1学年）

2月6日(火)3・4時間目に町役場産業課水産商工係の方と伊豆大島漁業協同組合の方々をお招きして、魚のふれあい体験を実施しました。はじめに、班に分かれて大島のメダイを1尾捌きました。そして、メダイを3枚におろし、切り身を照り焼きに、骨などはあら汁にしました。自分たちで大きなメダイを一から捌きながら、「むずかしい」「面白いなあ」など和気あいあいと体験に取り組んでいました。そして、自分たちで捌いて調理した魚を「おいしい！」と皆ぺろりと平らげていました。

漁協組合の方の話によると、ここ最近メダイの収穫量が減少しており、給食の食材としても卸せないほどになっているそうです。今回の魚のふれあい体験のために貴重なメダイを提供していただき、感謝しております。今回の体験を通して、日本で獲れる食資源の一つである魚を大切に、またこのような食資源を支えてくださる方への感謝の気持ちを持ち、これからの食生活をより豊かに広げていってくれることを期待しています。



令和5年度学校評価アンケート結果

アンケートへのご協力、ありがとうございました。頂いた意見を参考に、一中として改善できる点について検討し、生徒にとってより良い方向性を探りながら実施に向けた努力をしております。なお、人権上の配慮により個人に対する誹謗中傷や不適切な内容と判断したものにつきましては、掲載を見送らせていただきました。

●学校アンケート（生徒）

生徒全体

内容		とても そう思う	そう思う	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答 わからない	計
学習 に関 する こと	授業が楽しいと感じている。	11	28	15	3	7	64
	授業ごとに学習の目標が分かる。	15	34	4	4	7	64
	教科ごとの学習方法が分かる。	9	39	3	5	8	64
	小テストや定期考査の結果を振り返り、次の学習に生かそうとしている。	12	29	10	5	8	64
	家庭学習の習慣が身についている。	7	22	18	10	7	64
生 活 に 関 する こと	気持ちよく挨拶ができる。	29	17	10	1	7	64
	下校時間を守り、決まった通学路で真っ直ぐに帰宅している。	30	24	2	1	7	64
	服装など学校のルールを守っている。	33	21	3	0	7	64
	人を傷付けるような言葉を使っていない。	12	33	8	3	8	64
	部活動に積極的に取り組んでいる。	28	19	7	3	7	64
	専門委員会や学級の中で積極的に活動している。	26	22	9	0	7	64
	清掃やボランティア活動に積極的に参加している。	17	22	15	3	7	64
進 路	キャリアパスポートを活用し、職業体験や進路学習を通して、将来について考えようとしている。	20	26	7	4	7	64
	進路について、夢をもち、自分を高めようとしている。	22	20	13	2	7	64
指 導	一中は適切な生徒指導をしている。	18	28	5	5	8	64
	一中の先生を信頼している。	15	27	10	5	7	64
	一中には、相談できる先生がいる。	19	18	10	9	8	64
連 携 に つ い て	学校の配布物を保護者に渡している。	29	18	9	1	7	64
	学校での出来事を家庭でよく話す。	24	20	10	2	8	64
	一中とつばき小は授業や行事等で連携して教育活動に取り組んでいる。	6	27	15	9	7	64
	スクールカウンセラーの先生の仕事について面談やカウンセラーだよりを通して知っている。	7	18	19	12	8	64

●学校アンケート（保護者）

保護者全体

内容		とても そう思う	そう思う	そう 思わない	全くそう 思わない	無回答 わからない	計
学習 に関 する こと	お子さんは授業が楽しいと感じている。	2	11	11	1	0	25
	お子さんは授業で学習の目標が分かる。	2	9	11	2	1	25
	お子さんは教科ごとの学習方法が分かる。	1	9	10	4	1	25
	お子さんは小テストや定期考査の結果を振り返り、次の学習に生かそうとしている。	2	13	8	2	0	25
	お子さんは家庭学習の習慣が身に付いている。	3	8	8	6	0	25
	数学、英語の習熟度別授業は効果的である。	2	13	7	3	0	25
生 活 に 関 する こと	お子さんは気持ちよく挨拶ができています。	6	12	5	1	1	25
	お子さんは下校時間を守り、決まった通学路で真っ直ぐに帰宅している。	12	12	1	0	0	25
	お子さんは服装など学校のルールを守っている。	13	12	0	0	0	25
	お子さんは人を傷付けるような言葉を使っていない。	8	14	3	0	0	25
	お子さんは部活動に積極的に取り組んでいる。	13	10	2	0	0	25
	お子さんは専門委員会や学級の中で積極的に活動している。	8	14	2	1	0	25
進 路	お子さんは、職業体験や進路学習を通して、将来について考えようとしている。	4	11	7	3	0	25
	お子さんは、夢をもち、自分を高めようとしている。	3	11	9	2	0	25
指 導	一中は、適切な生徒指導をしている。	2	14	7	1	1	25
	お子さんは、一中の先生を信頼している。	4	11	7	3	0	25
	お子さんには、一中に相談できる先生がいる。	2	14	6	1	2	25
連 携 に つ い て	お子さんは学校の配布物を保護者に渡している。	2	15	5	3	0	25
	お子さんは学校での出来事を家庭でよく話す。	8	10	6	1	0	25
	一中とつばき小は授業や行事等で連携して教育活動に取り組んでいる。	1	12	9	1	2	25
	スクールカウンセラーについてカウンセラーだより等を通して知っている。	3	17	3	2	0	25

令和5年度 学校評価アンケート 集計結果

生徒

2 学力が向上したと感じる場面

3年生

- ・集中して勉強をする時間が伸びた。

2年生

- ・SNS を細かくではないが、英語で見られるようになった。
- ・勇気がついた。
- ・自分から進んで勉強することができた。
- ・考えて行動することができた。

保護者

2 学力が向上したと感じる場面

3年生

- ・作文に対する苦手意識が減ってきたように思います。
- ・子供のペースでじっくりと先生方が話をよく聞いてくれるので、自分の気持ちや考えを表現できることが多くなり、本人も自覚しており、とてもよい事と捉えています。

3 より多くの方に参観していただくための方策

3年生

- ・土曜日を多くしてもらいたい。
- ・授業の内容を知らせてもらおうと更に分かりやすい。

4 本校の教育について

1年生

- ・大変お世話になっております。あまり周りに関心がなさそうに見える我が子。色々な気付きを学校生活の中で感じてもらえたらと思います。そんな環境であってほしいと思います。
- ・夏休みの補習、考査の放課後学習は自宅ではなかなか勉強に取り組めないのが有難いです。生徒一人一人にスポットが当たる機会が多いのは、小規模校で行事も多い学校ならではの。先生方がどの行事でも一緒になっての取組に、楽しんでくださるのには子供だけでなく、親としても嬉しいです。子供が伸び伸びと成長していることに感謝申し上げます。一方、学力も島内だけでなく、島外でも通用する力を付けてほしいと願っています。考査前の子供たちの取組を見ているのを「甘い!」と思ってしまいました。親が言っても効果は薄いので、学校で自ら高みを目指して努力する雰囲気づくりをしていただけたらと思います。

2年生

- ・いつも手厚いご指導どうもありがとうございます。これからもよろしく願いいたします。

3年生

- ・本当に忙しい時間の中で、一人一人きめ細かに生徒を思いやったださり感謝しています。
- ・学校にいけない生徒への理解が不十分だと思います。勇気を出して行動しようとする時は約束を守ってあげてください。その積み重ねで先生方への信頼がもてるようになり、学校に安心感を得ることができるようになるのだと思います。義務教育は、学びたい子供に対して大人がサポートする義務があることを第一に人手不足もあると思いますが、学びたい気持ちをもっと大切にして、もっと柔軟に学びの場を用意してあげてほしいです。

くろしお学級のコーナー

節分のイベントをしました

2月2日(金)に恵方巻作りと豆まきをしました。



紙芝居の発表

校内と波浮保育園で手作りの紙芝居「おむすびころりん」を発表しました。



農林科交流

大島高校で農林科の皆さんとパンジーの植え替え作業を行いました。



くろしお美術では今年も階段アートを制作中です。



バレンタインのイベントに向けてお菓子の試作をしました。



3年生を送る会・卒業式に向けて歌と楽器を練習中です。



校内作品展のお知らせ

令和6年3月4日(月)～8日(金)の8時～16時(8日は午前のみ)に校内作品展を行います。各教科の授業や行事、部活動等で製作・制作した作品を広く展示いたします。展示の内容は以下のとおりです。生徒の学習の成果をぜひご覧ください。皆様のご来校をお待ちしています。

教科・部活等	作品名	学年	教科・部活等	作品名	学年
美術科	人物画	1年	英語科	My Day in This Winter ~Write a Diary~	1年
	流木アート	1年		My Dream	1年
	風景画	2年		My Day in This Winter ~Write a Diary~	2年
	手ぬぐい	2年		My Recommended Book	3年
	時計	3年		Write a Poem	3年
	自画像	3年		国語科	旅の記憶～修学旅行版「おくのほそ道」を書こう～
美術部	春の絵		1学年	南部校外学習冊子	1年
	夏の絵			職場訪問レポート	1年
	美術部誌		2学年	移動教室 発表レポート	2年
	映像作品			移動教室 事前学習冊子	2年
技術分野	木工作品	1年		移動教室 伝統工芸品	2年
	木工作品	2年		職場体験 発表レポート	2年
	計測制御システムのレポート	3年		修学旅行 清水焼	3年
家庭分野	郷土料理・行事食新聞	1年	3学年	修学旅行 発表スライド	3年
	トートバッグ	2年		一中サミット 発表スライド	3年
	動物ぬいぐるみ	3年		くろしお学級	令和5年度の制作物

夜の外出についてのお知らせ

学校には地域から様々な意見や情報が寄せられます。その中に、夜遅い時間帯の生徒だけの外出があります。一中では、生徒は18時までに帰宅するよう指導しております。東京都青少年健全育成条例では、深夜の徘徊等は補導や30万円以下の罰金に処せられる場合があるとなっております。保護者は、理由のない夜の外出をさせないようにしましょう。また、徘徊中の生徒を見かけたら帰宅を促すようご協力をお願いいたします。

3月行事予定

- | | |
|---|----------------------------|
| 1日(金) 都立発表 | 12日(火) 伝統和太鼓体験(3年)⑤⑥ |
| 4日(月) 伝統和菓子作り体験(2年)③④
保護者会(1・2年)
校内作品展(始) | 13日(水) シオパーク見学(1年)
避難訓練 |
| 5日(火) くろしお遠足 | 14日(木) 卒業式予行 |
| 6日(水) 読み聞かせ講演会(各学年)
一中サミット(3年)①② | 18日(月) 卒業式前日準備 |
| 7日(木) 校内球技大会⑤⑥ | 19日(火) 卒業式 |
| 8日(金) 3年生を送る会⑤⑥
校内作品展(終) | 22日(金) 大掃除⑤⑥ |
| 11日(月) シオパーク見学(3年) | 25日(月) 修了式・離任式 |
| | 26日(火) 春季休業日(始) |
| | SC出勤日 1日(金)、8日(金) |